

第65回 歴史地理学会大会・総会プログラム

1. 期 日：2022年5月20日（金・巡検）および21日（土）・22日（日）

2. 会 場：滋賀大学教育学部（大津キャンパス）

〒520-0862 滋賀県大津市平津2丁目5-1

交 通：JR東海道本線（琵琶湖線）石山駅南口バスのりば①から京阪バスに乗り、
／52・53・55系統で「滋賀大西門」下車（約15分）、徒歩すぐ。
／4系統で「滋賀大前」下車（約10分）、西へ徒歩7分（上り坂）。
／1系統で「石山幼稚園前」下車（約10分）、南へ徒歩10分（途中から西へ上り坂）。
詳細は滋賀大学Webサイト（以下のURL参照）をご覧ください。

<https://www.edu.shiga-u.ac.jp/faculty/access>

3. 日 程：5月20日（金）

12：30～17：00 巡 検（彦根城下町）

5月21日（土）

10：00～12：00 研 究 発 表 [自由論題]（大講義室・中講義室）

12：10～13：00 評 議 員 会（中講義室）

13：10～13：50 総 会（大講義室）

14：00～16：00 公開講演会（大講義室）

5月22日（日）

9：30～16：00 研 究 発 表 [共同課題シンポジウム]（大講義室）

9：30～14：30 研 究 発 表 [自由論題]（中講義室）

4. 公開講演会

演 題：井村博宣氏（日本大）

「琵琶湖産種苗によるアユ資源管理の全国展開—その経緯と成果・課題を中心に—」

秋山元秀氏（滋賀短期大）

「道の国、武将の城、商人の町、そして魚米の郷—近江の地域形成史—」

会 場：滋賀大学教育学部（大津キャンパス）大講義室

参加費：無 料

事前申込：不 要

5. 研究発表会

自由論題および共同課題シンポジウム「食文化の歴史地理」

会 場：滋賀大学教育学部（大津キャンパス）大講義室または中講義室

大会参加費：1,000円（当日、大会受付で資料集と引き換えにお支払いください。

また後掲のように、事前に参加申込みをしてください。）

6. 懇親会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年は中止させていただきます。

7. 昼 食

21日（土）・22日（日）両日とも生協売店・食堂は営業していません。

大学周辺にコンビニエンスストア・洋食店・うどん店・ラーメン店などがありますが、店舗数も少ないためご注意ください。

8. 大会参加の事前申込

本年は受付での密を防ぐため、事前申込制とさせていただきます。

当日、受付前にて会場校で準備した名札を探していただき、受付カウンターにお見せいただくとともに、大会参加費をお支払いください。資料集をお渡しいたします。

申込方法：5月17日（火）午後5時までに（※切厳守でお願いいたします）に、以下のGoogleフォームに必要事項をご記入いただくか、葉書にお名前・所属を明記して下記宛にお送りください（Googleフォームは歴史地理学会公式ホームページにも掲載します）。

GoogleフォームのURL：<https://forms.gle/C4i7qt7RkSQXzcgC9>

葉書：〒520-0862 滋賀県大津市平津2丁目5-1 滋賀大学教育学部 安藤哲郎宛

なお、受付での密を避けるため、今大会では、学会費支払いに対応した学会の受付カウンターは設けません。学会費のお支払いは郵便振替をご利用ください。

9. 巡 検

テマ：「彦根城下町における地域構造の変遷」

集 合：5月20日（金）12時30分，JR彦根駅改札前
（昼食は済ませてからお越しください）

コース：彦根駅（集合）→西口・東口→近江鉄道乗車（彦根～彦根口）→七曲がり→
芹川→花しょうぶ通り商店街→銀座商店街→外堀跡→旧外堀→四番町スクエア→
夢京橋キャッスルロード→宗安寺→本町・城町周辺→彦根地方気象台→北野神社・北野寺→
滋賀大学彦根キャンパス（解散、彦根駅西口へバスがあります。なお、案内者が彦根駅へ歩いて戻りますので、その間にも引き続きご案内いたします。）

案内者：安藤哲郎（滋賀大）

参加費：近江鉄道乗車運賃、バス代などで約300円必要です。

留意点：かなりの長距離を歩くこととなりますので、ご留意ください。

使用地形図：2万5千分1地形図「彦根東部」「彦根西部」

参加定員：最大25名，最小5名

申込方法：5月6日（金）まで（※切厳守でお願いいたします）に、お名前，所属，住所，携帯電話番号を明記のうえ，電子メール（件名に「巡検申込」とご記入ください）または葉書にて下記宛にお申し込みください。参加定員に達した時点で受付を終了させていただきます。

電子メール：andotetsuro@edu.shiga-u.ac.jp（滋賀大学教育学部 安藤哲郎宛）

葉書：〒520-0862 滋賀県大津市平津2丁目5-1 滋賀大学教育学部 安藤哲郎宛

※巡検は、今後の新型コロナウイルス感染症の流行によっては中止する場合があります。中止の場合は歴史地理学会公式ホームページに掲載します。

10. 宿泊情報

大学に近い石山駅・石山寺周辺・南郷等の宿泊施設は多くありませんので、京都・大津・瀬田・草津などの駅周辺も含めてご検討ください。

11. 大会開催中（5月21日～22日）の緊急連絡先

滋賀大学教育学部安藤研究室 電話：077-537-7771

メールアドレス：andotetsuro@edu.shiga-u.ac.jp

（研究室には不在のことも多いですので、できるだけメールでご連絡ください。）

〈大会実行委員会〉

安藤哲郎（委員長，滋賀大），松田隆典（滋賀大），藤岡達也（滋賀大）

12. 大会の実施形態

対面で実施しますが、今後の新型コロナウイルス感染症の流行によっては、開催形態を変更する場合があります。その場合は、歴史地理学会公式ホームページ上でお知らせします。

13. 研究発表会

◇5月21日 土曜日

●第1会場【自由論題】*は登壇者

大講義室

〔座長：山下琢巳〕

101 (10:00-10:30) 伊藤大生 (福井県立歴史博物館)：明治期九頭竜川下流域における養蚕業

102 (10:30-11:00) 宮本真二* (岡山理科大)・國米英吏子 (岡山理科大)・内野慎太郎 (両備グループ)
：近代以降の瀬戸内臨海平野における洪水浸水域の変遷とその要因

〔座長：山根 拓〕

103 (11:00-11:30) 三宅彦大 (筑波大・院)：戦前期敦賀商工会議所の地域振興策と地域間ネットワーク

104 (11:30-12:00) 鷺崎俊太郎 (九州大)：明治期東京市内における弁護士事務所の立地状況

●第2会場【自由論題】

中講義室

〔座長：中村周作〕

201 (10:00-10:30) 徐雨辰 (関西大・院)：近世日本におけるサトウキビ栽培および製糖技術地域的展開—奄美と讃岐の比較—

202 (10:30-11:00) 豊田紘子 (筑波大・院)：近代日本における果物消費—生食に注目して—

〔座長：麻生 将〕

203 (11:00-11:30) 卯田卓矢 (名桜大)：戦後の比叡山におけるドライブウェイ開業による空間変容と正当性—宗教イベントとしての大規模法要に注目して—

204 (11:30-12:00) 阿部志朗 (津和野高)：浜田外ノ浦湊米屋の『諸国御客帳』と『仕切帳』の資料価値について

◇5月22日 日曜日

●第1会場 シンポジウム【食文化の歴史地理】

大講義室

オーガナイザー：中村周作 (宮崎大)・清水克志 (秀明大)

清水克志「趣旨説明」(9:30-9:40)

第1セッション—伝統的食文化の展開—(9:40-11:05)

S101 野中健一 (立教大)：昆虫食に地域性と在来知識を探る

S102 花木宏直 (関西学院大)：近代移行期における温州蜜柑の需要

S103 齋藤結子 (関西大・非)：大正後期から昭和初期の家庭料理における“うま味”の活用—『聞き書・ふるさとの家庭料理』の記述から—

コメント：中村周作

第2セッション—食文化の変容—(11:10-12:35)

S104 清水克志：明治後期から昭和戦前期における野菜消費の変化—結球白菜の普及に着目して—

S105 ベンジャミン・シュレーガー (宇都宮大)：プロイラーの普及と鶏料理の再編成

S106 林 紀代美 (金沢大)：地域の伝統的な食に関する消費と評価，その変容

コメント：野間晴雄 (関西大)

第3セッション—食と社会・食の空間—(13:30-14:55)

S107 湯澤規子 (法政大)：東京市本所・深川区における労働者の食と生活世界—1920年代を中心に—

S108 加藤晴美 (東京家政学院大)：遊廓における酒食の提供と地域

S109 橋本健二 (早稲田大)：都市空間のなかの居酒屋

コメント：須山 聡 (駒澤大)

個別の質疑応答 (15:00-15:10)

総合討論 (15:10-15:50)

総括 (15:50-16:00)：中村周作

●第2会場【自由論題】*は登壇者

中講義室

<午前の部>

〔座長：須山 聡〕

205 (9:30-10:00) 剣持佳季 (伊豆石文化探究会)：明治期から大正期の伊豆半島における石材産業の動態把握とその要因

206 (10:00-10:30) 笠原茂樹 (日本大・院)：美濃焼産地における製造業者の技術変遷—1990年代以降を中心として—

〔座長：大城直樹〕

207 (10:30-11:00) 山元貴継 (中部大)：沖縄本島・勝連間切南風原村における「格子」状集落の成立

208 (11:00-11:30) 米家志乃布 (法政大)：戦前日本における「千島」表象

<午後の部>

〔座長：中西僚太郎〕

209 (13:00-13:30) 平井松午* (徳島大・名誉)・塚本章宏 (徳島大)：ゼンリンミュージアム・山口県文書館所蔵の伊能図

210 (13:30-14:00) 井口琢人 (神戸大・院)：戦前の地図作成と要塞地帯法

211 (14:00-14:30) 七里広志 (滋賀大附属中)：中学校社会科「身近な地域の歴史」において歴史地図を活用する意義

<キャンパスと会場>

